

■「惣大行事日記（文久三年）」より「鹿島丹下の帰職運動」

2. 文久三年四月 下総国の旧家臣・親戚・縁者へ挨拶回り

（四月）廿二日

朝鹿嶋出立。息栖通り、小見川中飯^{ニ而}、八時過大寺村重郎兵衛へ着。土産、茶二百文・手拭一、其外小高又之進^方之届物遣^ス。直様重郎兵衛殿一同^{ニ而}利右衛門へ風呂敷一、半し^ニ持参。今川屋へ手拭一、茶二百、外^ニ小高^方届物。右両家主留守^{ニ而}不面会。夫^方越川氏へ行。中宿へ一寸立寄候。越川へ上菓子折一持参。馳走^ニ相成、今晚越川氏泊^ル。

廿三日 晴

朝越川^方飯森塚へ帰り懸、六郎兵衛・者州や佐吉・弥助・藤兵衛・太兵衛・与右衛門・伊兵衛方へ立寄候。右近所、太兵衛・藤兵衛・伊右衛門・与右衛門へ手拭一筋^ヅ遣^ス。吉左衛門へも遣^ス。

一、四時^方利右衛門頼、八日市場灰十方へ行。五匁^之折壺^ツ遣^ス。金子之義申入候処、式十五両、廿八日迄^ニ貸呉候積り對談。證文渡し、手形受取参り候。近郷釜屋へ寄候処、肴物^ヲ大寺迄見舞^ニ遣候由被申、一礼いたし、夫^方買物などいたし夕方迄^ニ大寺へ罷帰候。利右衛門へ酒振舞帰^ス。

一、越川氏^方迎^之もの来。後刻書面^{ニ而}断り遣^ス。

一、聖禪寺へ手拭一、龍尾寺へ菓子一袋、右持参^{ニ而}逢^ニ参候。

一、今晚弥助・喜平母一同一樽宛持参。見舞ニ来。酒振舞。

廿四日晴

今朝、今川や来。

越川氏被参、今日招度由之处、今日者松崎へ可参ト存候間、其支度ニ而出懸、越川氏へ参候处、種々馳走有之。龍尾寺春泰など同席。祖母も参り及暮退キ、夫方六郎兵衛新坂へ見舞候。新坂へ茶ニ百文遣ス。夫方今川やへ参り、今晚今川ニ而馳走ニ預り泊。尤十郎兵衛同座。今川屋へ藤兵衛・庄治郎兩人、手前へ見舞として酒持参。一同宴を開。

一、今日庄兵衛ト茂吉ニ軒へ土産物、手拭一筋ヅ遣ス。

廿五日 半晴

今朝大寺村出立。

出立前越川方徳三郎暇乞ニ来。尤此方方も昨日之礼、手紙遣し申候处、徳三郎参候也。為餞別金百疋、外ニ細工物品々被贈候。太兵衛方煙艸壹斤、四郎左衛門方煙艸半斤、作吉方同半斤、彦左衛門方同半斤、右之通被見舞候。其外皆々暇乞ニ来。伊兵衛方強飯・重之内来。甚左衛門方長芋被贈、与右衛門方麦コ可し被贈候。今川屋へ暇乞ニ寄候处、犀角・人参・セメン、右三菓被呉候。吉左衛門へ立寄、夫方松崎へ出、松崎氏へ半紙ニ、煙艸一斤遣ス。夫方山倉参詣。神尾村へかかり、小見川へ出、舟ニ而暮六半時鹿嶋へ罷帰候。

廿一日

三十式文 髪結

一、式百文 息栖舟ちん

一、式百八十文 小見川中飯・酒共

一、百文 茶代

一、六百文 茶三袋

一、十匁 手拭一反

一、四百七十式文 足袋

一、四十文 半し

一、八十八文 大寺^{ニ而} 遣ヒもの 半し

一、式百文 平吉帰り路用

一、百文 同人可し

廿三日

一、五匁 菓子折 灰十へ

一、式百文 白砂糖 祖母へ

一、百文 まんちう 龍尾寺へ

一、式百文 くわし 子共等へ

一、貳百文 半し 遣ヒもの

一、五十文 途中茶代

一、百卅貳文 手拭 茂吉へ遣ス

一、百文 定吉ニ遣ス

廿五日

一、三百十八文 小見川酒飯

一、貳百文 息栖迄舟ちん

一、五百文 息栖^方大舟津迄

一、貳百文 茶代

廿六日

一、三百文 茂吉帰入用

廿六日

(中略)

一、今昼時、茂吉下総へ帰ル。為大儀料粽紛百目遣ス。

(後略)